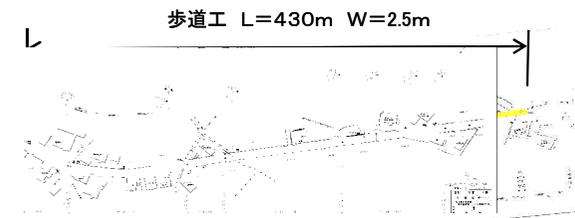


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備事業		路河川名等		(主)松本環状高家線		
事業毎の通番		12		市町村名		松本市		
				箇所名(ふりがな)		横沢(よこさわ)		
事業概要	事業目的	主要地方道松本環状高家線は、松本市の西環状線として松本市芳川から安曇野市(豊科)まで続く幹線道路である。交通量が多く、松本市梓川の小中学校の通学路となっているため、朝夕の人通りも多い。しかし、路肩を利用した歩道は狭く、歩行者等が危険にさらされている。 このため、歩道整備を行い、安全かつ快適な歩行空間の確保を図りたい。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等		社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
	関連する事業、計画等	通学路緊急合同点検(H25)						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	梓川小学校 通学者 他 現況交通量 4,519台/日、現況自転車歩行者量 311台・人/12h						
	着手年度	平成27年度	事業期間		7年間		事業費(千円)	
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果		-		財源内訳(千円)	
	全体事業内容(主な工種)	歩道工 L=430m、W=2.5m		300,000		180,000	108,000	12,000
	年度事業内容(主な工種)	測量設計 一式		0		0	0	0
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される。					
		間接的効果(定量的・定性的)	地域内交流の促進 通行車両の交通事故抑制					
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 4,519台/日以上 ○現況自転車・歩行者交通量 : 311台・人/日以上【H17センサス】					評価	
							A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検) ○緊急輸送路の路線指定 : 指定なし					評価	
							C	
	効率性	○事業期間 : 7年間(H27~H33)					評価	
							C	
緊急性	○近年の交通事故件数 : 物損事故31件(H23~26) ○通学路対策 : 緊急合同点検を踏まえた対策箇所(松本市立梓川小学校) ○現況の歩道幅員 : 2.0m未満(W=0.8m(路肩兼用))					評価		
						C		
計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中信に周知(H25.11松本市にて意向確認集會開催) ○地域の取り組み : 協力的である(町会要望あり) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民関与が低い					評価		
						C		
部意見	交通量が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。		行政改革課意見		自動車交通量、自転車歩行者の交通量が多いため、危険性が高いことから、必要性が高い。		評価結果 ○	総合評価 B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	主要地方道松本環状高家線は、松本市の西環状線として松本市芳川から安曇野市(豊科)まで続く幹線道路である。交通量が多く、松本市梓川の小中学校の通学路となっているため、朝夕の人通りも多い。しかし、路肩を利用した歩道は狭く、歩行者等が危険にさらされている。当工区の起点側と終点側は歩道設置済であり、中抜け区間となっている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元町会等から松本市を通じ、歩道整備の要望あり。	
③事業説明等の経緯	事業実施にあたり、松本市にて関係者(地権者等)の意向確認集會を開催し、歩道整備事業に對し了承を得ている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	なし	
⑥地域活性化への影響と配慮	歩道設置により、歩行者の動線が確保され、地域内交流の促進が期待される。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 14'00.26" 東経:E 137° 54'06.43"